

# 令和4年度「親の育ち」家庭教育支援者養成講座

昨年度より「子育てネットワーク養成講座」と「家庭教育支援者スキルアップ講座」を一本化し、より多くの方の研修ニーズに応えるため、『親の育ち』家庭教育支援者養成講座』として開催しています。本年度は、既に子育てネットワークとして活動している方、これから子育てネットワークを志す方、家庭教育や子育てに興味がある方など、100名近く受講者が参加されました。

研修を終えた方が、今後、「子育てネットワーク」として、各市町村で子育てや家庭教育に奮闘している保護者を支援する立場として御活躍いただけることを期待しています。

＜講座の内容＞ ※ 会場参加及びオンライン参加によるハイブリッド方式で開催

講座	開催日	内 容
1	9月13日 (火)	単位A：子供の特性と保護者支援：「乳・幼児期編」 講師：岡崎女子短期大学 准教授 丸山笑里佳 氏
2		単位B：子供の特性と保護者支援：「児童期・思春期編」 講師：愛知教育大学 教授 野平 慎二 氏
3	9月22日 (木)	単位C：(行政説明) 現在の保護者を取り巻く状況や施策の動向 講師：文部科学省家庭教育支援室担当 (オンライン) 講師：愛知県教育委員会生涯学習課担当 愛知県福祉局子育て支援課担当
4		単位D：(事例報告) 子育て・家庭教育支援の現状 講師：NPO法人SmileyDream 理事長 櫻井 雅美 氏
5	9月28日 (水)	単位F：特別な配慮を必要とする子供の特性及びその支援 講師：愛知教育大学 講師 安藤久美子 氏
6		単位E：地域における子育てネットワークとしての 家庭教育支援と講座運営 講師：子育てネットワーク 宮崎 初美 氏

## ＜単位A＞ 子供の特性と保護者支援：「乳・幼児期編」

乳幼児の発達を学ぶことで、子供理解が進み、保護者に対しても適切な支援ができるようになります。講義では、0か月から6歳までの子供の特性について、具体的な姿を挙げながら説明されるとともに、子育て支援の6つのポイントについてお話しくださいました。子育ての主役は子供と保護者であり、保護者が主体的に考えられるように、ともに考え支えていくことが大切であるとのお話に、これまでの自身の保護者に対する見方を振り返るとともに、子育てネットワークとしてのあるべき姿を考える機会となりました。



## ＜単位B＞ 子供の特性と保護者支援：「児童期・思春期編」



児童期や思春期の特性や発達課題を踏まえた保護者支援のあり方についてお話をいただきました。「子供の育つ力を信じる、待つ、見守る、考えさせる、任せる」ことが大切であり、その上で、保護者は子供を守り、独り立ちさせる役割を担うこと、「聴く」ことが子供の自信と安心のもとになること等を教えていただきました。また、「子育て(支援)の中で直面した出来事」をグループで発表し、意見や助言を交換することを通して、保護者との関わり方や支援のあり方についての考えを深めました。

## <単位C> (行政説明) 現在の保護者を取り巻く状況や施策の動向



文部科学省からは、子供や保護者、家庭環境を取り巻く現状を具体的なデータを基にお話しいただくとともに、国の様々な施策について説明をいただきました。困難な現状を知り、悩みや不安を抱えた保護者のために、アウトリーチ型支援がいかに大切であるかを実感する機会となりました。

愛知県の行政説明では、子育てネットワーカーの役割や活動内容を紹介するとともに、重点施策として「愛知県家庭教育支援チーム登録制度」について説明しました。また、子育て支援課より、「ホームスタート」の取組について説明し、県内の実施団体の状況等について紹介しました。参加者のホームスタートへの関心は非常に高く、質疑を通して理解を深めることができました。



## <単位D> 子育て・家庭教育支援の現状



NPO 法人の理事長として、家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業を展開されている講師より、支援団体の立ち上げの経緯や活動事例、運営の工夫等についてお話しいただきました。グループワークも交えながら、支援のあり方や活動の進め方等について、自身の体験や実践を基に具体的に説明していただいたことで、受講者は、支援の意義や魅力、「ホームスタート」の有用性を実感をもって学ぶことができました。「ホームスタートにぜひ参加したい」という感想も聞かれました。

## <単位F> 特別な配慮を必要とする子供の特性及びその支援

子供の特性は様々であり、育てにくさを感じている保護者もいます。そうした方を支援できるよう、特別な配慮が必要な子供の特性や、育てにくさを感じる子供をもつ保護者の心情等についてお話しくださいました。子供の発達の偏りや遅れに対し、希望や抑うつ等、保護者の気持ちは何度も揺れ動くものであり、子供の特性についての正しい知識を身につけながら、そうした保護者の気持ちに寄り添って、温かく穏やかに声をかけたり、スペシャルな聴き手として接したりするなど、支援者としてのあるべき姿について学ぶことができました。



## <単位E> 地域における子育てネットワーカーとしての家庭教育支援と講座運営



子育てネットワーカーとして長く活躍されている講師から、自身の経験や実践を基に、子育てネットワーカーの活動内容をはじめ、その意義やめざす姿、行政との連携方法等についてお話しいただきました。また、「あいっこ『親の学び』学習プログラム」を活用したグループワークを実際に行い、ワークショップの進め方やアイスブレーキングの方法等を体験しました。講義やグループワークを通して、講座運営のノウハウはもとより、子育てネットワーカーのやりがいや魅力を実感をもって学ぶことができました。

### <参加者の声>

- 子供の特性や発育の理論を学び、子育ての主役は子供とその保護者であること、保護者が主体となるサポートの仕方考える機会になりました。
- 子育てネットワーカーの心構えや乳幼児期の心の発達、子供・保護者支援等、とてもためになりました。
- 大切な支援のポイントを学ぶことができたので、子育てネットワーカーとして関わりができれば、落ち着いて子供や保護者の家庭や環境、背景等にも目を向けて話を聴いて、一人一人に合った支援をしていきたい。
- 子育てネットワーカーになって、身近なところから支援を始めたい。
- 地域で子育て中の保護者を支える人材の一人になりたいと思いました。